



令和2年6月26日発行 中等新報第61号
新潟県立村上中等教育学校長 吉井 裕也

5年生諸君へ ～戦略的学習を試みよう！～



卒業生の結果と5年生の進路希望

5年生の志望状況

	志望	昨年合格 (延べ数)
国公立大	64	34
私立大学	6	121
文部科学省管轄外大学校	1	1
短期大学	0	0
専修・各種学校	2	6
就職	1	0

Murakami Secondary School 3

「ベネッセコーポレーション」の資料を活用しながら、当校の実情に沿った説明を行う齊藤教諭

ii 努力の仕方を見直す

学習とは、学習に対する考え方や行動のことである。

非効率な学習	効率な学習
<ul style="list-style-type: none"> 練習量志向: 学習はたくさん覚えたり、練習したりすればいいという考え方。 丸暗記志向: 学習内容を丸暗記すればいいという考え方。 結果重視志向: 100点や90点の点数がよければいい(結果さえよければいい)という考え方。 他校志向: 自分より強い、自分よりできる、すぐ勝つ人、賢い人、有名校に行くという考え方。 	<ul style="list-style-type: none"> 万能志向: 勉強のやり方、自分に合った勉強方法を工夫することを重視する考え方。 意味理解志向: 意味を理解した上で、解き方や考え方を確かならから学習を進める考え方。 思考過程重視志向: 学習内容の理解を考えた上、解き方や考え方を確かならから学習を進める考え方。 失敗活用志向: 間違ってもいい、理解不足に気づき、よりよく分かるようになるという考え方。

NGな学習スタイル・学習観

- 受け身の学習姿勢
- 暗記だけの学習
- 丸暗記やテクニック重視
- ドリルなど練習量を重視
- 分からないとすぐ正解を求める
- 勉強の「頑張」を重視

iii テストを受けるだけにしない

目標設定
模試実施 自己採点
復習
振り返り

模試でPDCAのサイクルを強化

- 目標設定: 次の模範試験で何点取るか? 科目ごとの目標得点は何か?
- 模試実施 自己採点: 時間配分を意識する 自己採点との差異は何点か?
- 復習: 解答解説を読み込む できなかった分野を明確にする
- 振り返り: 目標点との差を確認する 前回からの伸びを確認 優先すべき教科の確認 今後の学習計画の立案 納得できるまで十分直し直しを行う

iii テストを受けるだけにしない

「すま時間」を効率的に!!

放課後
登下校中

1位 単語帳を持ち歩く
2位 暗記ものに取り組み
3位 通学時間を利用する
4位 放課後に残って勉強
5位 学校に早く行って勉強
6位 大学入試を調べる

いつでもだんだんとなく過ごしていた登下校中や、授業以外の時間もちょっと行動を変えれば、スイッチをオンにしてくれる!

6月12日(金)、5学年で進路講演会を実施しました。講師は、5年1組担任の齊藤恭広教諭です。進路決定まで2年を切ったこの時期、今後の中等生活をどのような意識と姿勢で過ごしていけばよいのか、具体的なデータと気迫のこもった語りで生徒たちに訴えました。

講演の中で印象に残ったのは、今後の受験準備の**主役はあくまでも自分自身である**ということ。皆に平等に与えられている時間をどのように使っていけばいいか、自分に合った効率的な方法について、試行錯誤を繰り返しながら、自分で見つけることが肝心ということです。今回の講演では、「学習スケジュールの立て方」、「望ましい努力の仕方」、「テストの活用法」等、受験を乗り切るためのヒントがたくさん示されていました。

今春卒業した先輩からのメッセージ(「SCHOOL GUIDE 2021」より)

佐藤 太陽 さん(京都大学理学部・理学科進学/令和2年3月卒業・13期生)

- 村上中等教育学校の大きな魅力の一つとして、一生役立つ勉強をする機会が数多くあるということがあります。村上中等の授業は、ただ与えられたものを暗記するだけというもの少なく、問題を自分で考え、答えを出す過程自体を学ぶというものが多いです。例えば、数学であれば、解法だけではなく、その解法を思いつくまでの考え方を学び、模範解答以外にも良い解き方がないか考える授業もあります。これはいわば、「**勉強する方法を勉強する**」ということでもあります。たとえ卒業したあと、受験勉強で覚えたことの全てを忘れてしまったとしても、村上中等で学んだ「勉強する方法」は、その後の人生のあらゆる場面で役立つでしょう。